

れきしたんぼう

もとよしおだいばあと

ほうだいあと

M-5

# 歴史探訪！本吉御台場跡(砲台跡)



石川郡本吉絵図 (金沢市立玉川図書館所蔵)

上の図は、安政5年5月、第13代加賀藩藩主前田斎泰が、参勤交代での帰路、小松より本吉に寄った際の本吉での順路を示したものである。

白山美川観光物産協会 2008.9

## 本吉御台場跡

この付近には、江戸末期嘉永三年(一八五〇年)から明治初め(一八七〇年)まで、異国船に対する海防のための御台場(砲台)があった。

砲台の長さは約一五メートル、幅は約三メートル、高さは約二メートルであり、五門の大砲が据えられていた。大砲は、銅製で砲身は釣り鐘状の短いものであった。

加賀藩は、嘉永三年に領内で砲台を築造すべき場所として、本吉(美川)、大野、黒嶋、輪島、宇出津、伏木を選んで置いた。本吉には加賀藩の御蔵が置かれていたため、砲台が置かれたものと思われる。